

注目の科目

皇室概説

皇室の基礎的事項から重要事項までを学ぶ。

皇室の歴史・制度の中でも特に神道と関わりの深い祭祀や儀礼についての基礎的な知識を身につけ、皇室に対する関心を高めます。授業では皇室に関する重要項目を順次取り上げ、映像資料なども使用して講義を行います。



祭式及び同行事作法Ⅲ

祭祀を厳修する基本的技能と祭式の応用を修得。

「祭式及び同行事作法Ⅰ」と「祭式及び同行事作法Ⅱ」で修得したことを踏まえ、大祭式(例祭)や立礼での小祭式の演習を実施。地鎮祭や神前結婚式などの諸祭式や男子の衣冠単、斎服、女子装束の著け方の指導も行います。

宗教学演習Ⅰ

日本の宗教のあり方を説明できる力を修得。

日本の神社・寺院を一つずつ取り上げ、丹念にその歴史と変化の様子を研究。社寺の神仏習合・神仏分離の事例を研究することにより、日本固有の信仰である神道や仏教など日本の宗教のあり方を説明できる力を身につけます。

祭祀概論

神道祭祀の歴史的根拠と由緒について学ぶ。

日本古代の祭祀形態が記されている「神祇令」条文の解説をもとに、朝廷、神宮の年中恒例祭祀と臨時祭祀について復元して解説。歴史的根拠と由緒を理解しながら祭祀担当官司である神祇官の機能と役割についても学びます。

古典講読Ⅰ

『古事記』を通して、神道や日本思想史を学ぶ。

『古事記』は、神道や日本文化史、思想史を理解するうえで欠かせない重要な古典の一つです。本講義では『古事記』の上巻を精密に講読することにより、神道思想および日本思想史の基礎的な知識の修得をめざします。

日本文化概説Ⅱ

日本文化の特徴的な主題と歴史を理解する。

古代から近世に至る日本文化の歴史について、各時代の特徴ある主題を取り上げ、その展開を概観。日本の仏教文化についての基本的知識を身につけ、思想、芸術、各宗派の特徴などの面から説明できることをめざします。



最近の主な卒業論文のテーマ

神道学コース

- 鳥居の研究 ●笏の研究 ●神道と祈りの場 ●剣山の信仰と伝承
- 出羽三山の起源と信仰 ●神前神社について
- 鏡の文様に関する宗教性についての研究
- 美濃国苗木藩における廃仏毀釈 ●大正天皇について
- 郷土玩具と神社授与品 ●宗教と書道 -中国仏教との関わりで-
- 宗教音楽について

日本文化学コース

- 文学作品から見る天皇観 ●桃太郎と神話
- スサノヲ神の神格についての研究 ●草薙剣の信仰についての考察
- 禍津日神の本質 ●五輪書 of 思想
- 神道および仏教儀礼における太鼓の鳴法 ●橘家神道の祭祀について
- 山崎闇斎と庚申信仰 ●知多半島の山車まつり
- 海上自衛隊艦艇における艦内神社の祭祀 ●宮崎駿作品における神道観